



☆☆ニュースレター☆☆

第135号
発行日:2015. 10. 28
(since 2006.2.1)

このニュースレターはメールを登録している正会員および賛助会員ほか当団体が了承した希望者に、随時配信しております。配信中止を希望のかたは右記までご連絡ください。

NPO 法人・クライネスサービス

会長:稲垣 正彦

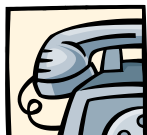
発行責任者:事務局長・桑原 正明

千葉県佐倉市宮ノ台3-2-2

npo-kleines-463@catv296.ne.jp

TEL/FAX:043-463-1337

<http://www.catv296.ne.jp/~kleines/>



警察情報

9月16日から17日にかけて南ユーカリが丘で自動車盗難が1件発生しているほか、10月前半まで大きな犯罪情報は入手していません。

*10月20日(火)「地域防犯ボランティア県民大会」が千葉市青葉の森公園芸術文化ホールで開催されました。稲垣会長、防犯部の加藤部長、苗木副部長、安済前部長と桑原事務局長の5名が出席。大会では、個人・団体の表彰に先立ち「電話 de 詐欺」の講演が行われました(出席者談)。

*10月25日(日)第20回『ユーカリフェスタ』に延べ28名がボランティアで参加。駐車場・自転車の出入り誘導案内、パレードの交通整理など行いましたが、コミセン裏駐車場付近の道路に強風でスズメバチの巣が落下し、一時通行を遮断するなどのハプニングが起きました。



会員投寄稿 -36- 「パソコンの過去と未来」 (小林弘司)

近着の外国報道(WHITE HOUSE 配信)記事“Today, we're in the future”(きょう私たちは「未来」にいる)によれば、Marty McFlyとDoc Brownが「未来」に向かった米国SF映画『Back to the Future』が封切られたのは1985年、30年前だそうです。一方コンピュータは52年 IBM 社などの研究から進化し、アップル社やマイクロソフト社のいわゆるパソコンが世に出たのも約30年前でした。

私が個人用のパソコンを初めて購入したのは95年で、その頃から「IT(情報技術)革命」と騒がれ始めたと記憶しています。会社ではワープロからパソコン(PC)に切り替えが始まった初期の頃で、隣席の同僚に何度も尋ねたり、社内教育に加え何冊も教本を買ったりと、習熟までには随分苦労しました。異動した職場で個人に専用のPCが支給された96年からは仕事の手順がすっかり「パソコン化」し「革命」の意味を実感したものです。まだフロッピーディスクを使っていた時代でしたが、eメールでの問い合わせにすぐさま届いた海外支店からの返事には驚愕で、同僚と歓声をあげたほどです。

先日暇に任せてPCに記録しているデータを見ていたら、今夏購入したパソコンで11台目でした。累計すると昔風の表現ならとくに「百万長者」並みの金額。プリンタや無線LAN他の周辺機器を含めれば家族には知られたくない額になっています。思い出したのは83年頃、まだパソコンを持っている



人がいなかった時代、理数に長けた友人が買ったPC(PC98?)は車を買えるほどだったそうです。

当時はアイコンで簡単に開けるものではなく、自分でプログラムを組んで使っていたとかで、算数にさえ弱い私など操作できる代物ではなかったのです。

昨今ではパソコン並みの機能がスマホという手に収まる小さな機器で持ち運びが可能になったことを考えると、トランジスタラジオの放送に耳を傾け、まだ見ぬ世界を想像し、将来を夢見ていた時代からはまさに隔世の感があります。

20年、30年後はどんな世の中になっていることだろうか。もういいと思っても科学の進歩は止まることはないのでしょう。医学などの発展とともに。(10/22 記)

付記:この記事を書いた日の読売新聞に奇しくも冒頭「バック・トゥ・ザ・フューチャー」関連の記事が載っていました。